

介助方法について

相互交通株式会社

2022年7月22日(金)

心構え

- 動作の前には、必ず声をかける
 - * 加齢により視野は狭くなるので、視界にはいるように意識する事
 - * 難聴がないかを確認
 - 不必要に大きな声は不快に思う事があるので
注意！
- 力まかせにやらず、相手の呼吸に合わせる事

歩行介助

- 介護者は不自由な側につく
麻痺側 ケガをしている側など
- 昇る時は健足から
- 降りる時は不自由な足から

- 杖は不自由な足と反対側でもつ
麻痺の無い方で持つ
ケガをしている足と反対側

車いす介助

- 力が入る側を，車側にもってくる
車側の足＝体を回転させる為の軸足
＊車側の足を少し前に出しておくとも回りやすい
- 立ち上がる前
両足底がしっかり地面についている事を確認

車いす介助

□ 座席について

座った時の姿勢を直す時に、足を持ち上げると
バランスを崩し席横に倒れこむ事がある
必ず、背中を支えながら行う事

車いす介助

- 車いすのブレーキを掛ける
- フットサポートをきちんと上げる
 - * 介助者の視界に入りにくい
 - フットレストに引っ掛かり, けがをする事がある
- マヒ側の手の位置を注意する
 - * 足の動きに気を取られ, 忘れる事がある
 - 体の下敷きになってしまう事がある
 - 自分で動く側の手で押さえてもらうなど, 声掛けをする

右マヒ

- 動作を意識するとできなくなる事がある
- 最初の一歩や行動し始めが難しく足がすくむ

左マヒ

- 左側の空間や体の意識が低い
- 右ばかり向く、左の壁によくぶつかる
- 動作にふらつきがあり不安定 転倒注意！
- 右から声をかける

パーキンソン病

パーキンソン症候群

- すり足
- すくみ足
 - * 介助者は前からひっぱるのはダメ！
 - * 歩行始め・方向転換・狭い場所・ドアの所・
曲がり角が足が出にくい
- 突進歩行
 - * 体がついていかず、前のめりになる
- 小刻み歩行